

陳情書

本会議場で一般質問、および議案審議の際、「コロナ対策三密を避けるため」と称し、出席議員数の制限を図り、議場を「安易」に空席にする行為は、認めないことを求める陳情

| | |
|-----|---|
| 陳 | 情 |
| 第 6 | 号 |



(件名)

本会議場で一般質問、および議案審議の際、「コロナ対策三密を避けるため」と称し、出席議員数の制限を図り、議場を「安易」に空席にする行為は、認めないことを求める陳情。

(趣旨)

6月5日から開催の第二回定例会を傍聴して、議場の厚い扉は締め切っているながら「コロナ対策」と称して、質問時間や出席議員数の制限を目の当たりにし、驚きました。

確かに5月25日に「全国緊急事態宣言解除」から間もなく、まだまだコロナの情報が十分ではなかったので、混乱は免れません。

しかし、「全国緊急事態宣言解除」後、多くの市民は日常へと戻る生活を模索している時期でありました。

執行部側の担当職員以外の出席数の削減は、理に叶い、今後も続けていくべきと考えますが、すでに小中学校も平常授業が行われている9月になっても、市民の負託を受けた議員が、議会を空席にするという行為には、納得しかねます。

「市議会議員は、市民の意思を市政に反映させるために、市議会を構成して市民生活のさまざまな課題についてきめ細かく審議し、どう処理すべきかを決めています。」

(三鷹市議会：市議会の役割 参照)

1、行政の専門集団である執行部を前にして、議場を後にするのは、敵前逃亡（執行部への白紙委任）」ではないでしょうか？

2、「議場を空席にする間は、議会中継を自室控室で視聴している」という言い分に、市民は納得するでしょうか？ 水一滴飲めない、居眠りも大ぴらにできない、こっそりとしか関係のない書類を見れないという制約や緊張感がある議場と、自室控え室と同じでしょうか？「君子李下に冠を正さず」です。

空席でもなんら支障をきたさない議会ならば、もっと実のある議会にすべき改革が必要ではないでしょうか。

3、他党派議員の質問は、自分の問題意識とは関係ないとする議員の増加が見受けられますが、人間の生活は複合的に関係しあっている以上、三鷹市民18万人が抱える様々な問題を、全議員に共有していただくことで、より豊かな市民生活が築ける力になっていただけたと思います。

4、混乱を極めたCOVID-19も少しづつ明らかになって来ました。まず「換気」を徹底することだと思います。議員の空席より、扉の開放の方が効果あると思います。本会議場だけでなく、協議室でも窓を少し開放しておくことをお勧めします。

令和2年9月24日

(あて先)

三鷹市議会議長様 石井 良司 殿

(提出者)

住所 三鷹市

氏名 藤井 ルリ

電話